

テレメータ		
取扱説明書	専用回線 帯域品目	形式
	1200 bps モデム	MOD5

## ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

### ■梱包内容を確認して下さい

- ・ モデム (本体) .....1 台
- ・ RS-232-C ケーブル .....1 個

### ■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

### ■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

本器は、変調方式により 1200 bps より高速の通信はできません。このため、本器に接続する機器の伝送速度が 1200 bps 以下である必要があります。もし、1200 bps を超える伝送速度の機器を接続しますと変調することができず、通信が正常に行えません。

#### ・専用回線との接続

本器に接続可能な専用回線は帯域品目 3.4 kHz ですの注意して下さい。また、専用回線への落雷による破損を防止するために必ずテレメータ用避雷器 (形式: MDP-FT など) を接続して下さい。また、供給電源にも電源用避雷器 (形式: MA-100 など) を接続することをお勧めします。

#### ・MOD5 に接続する DLS の形式および設定

形式: DLS-□□□-□/ M5 □

設定: 伝送速度 1200 bps  
 伝送データ 8 ビット  
 ストップビット 2 ビット  
 パリティ 奇数 (odd)

	ON	OFF	
1	■		} 伝送速度 1200 bps
2		■	
3	■		} 伝送データ 8 ビット
4		■	
5	■		} ストップビット 2 ビット
6		■	
7		■	} 奇数パリティ パリティチェックあり
8	■		

## ご注意事項

### ●供給電源

- ・ 許容電圧範囲、電源周波数、消費電力  
 スペック表示で定格電圧をご確認下さい。  
 交流電源: 定格電圧 85 ~ 132 V AC の場合  
 85 ~ 132 V AC、47 ~ 66 Hz、約 3 VA

### ●取扱いについて

- ・ 本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および回線を遮断して下さい。

### ●設置について

- ・ 屋内でご使用下さい。
- ・ 塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・ 振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・ 周囲温度が -5 ~ +50°C を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

### ●配線について

- ・ 配線は、ノイズ発生源 (リレー駆動線、高周波ラインなど) の近くに設置しないで下さい。
- ・ ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

### ●その他

- ・ 本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

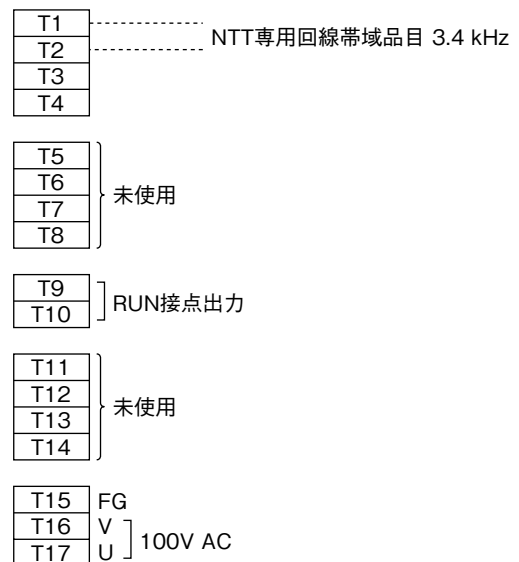
### ●本器を使用する場合に、次の点を確認して下さい。

#### ・本器に接続する機器

本器は弊社製モデムインタフェース (DLS、SMDM、22LS1 など) との接続用に設計したものであり、他社製品との接続は行わないで下さい。

#### ・NTT 専用回線の接続

MOD5 に NTT 専用回線を接続する場合は下記のように接続して下さい。



#### ・机上での確認について

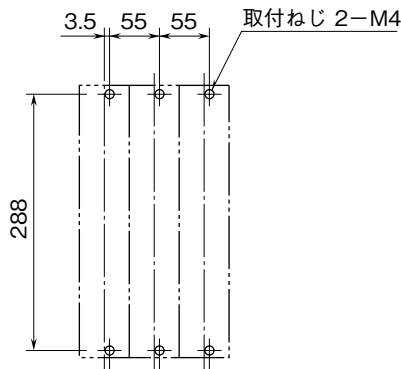
回線の減衰量が少ない場合、通信が不安定になることがあります。その場合は、減衰器などを用いて確認して下さい。

注) 専用回線との接続は、工事担任者またはその監督の下で行って下さい。

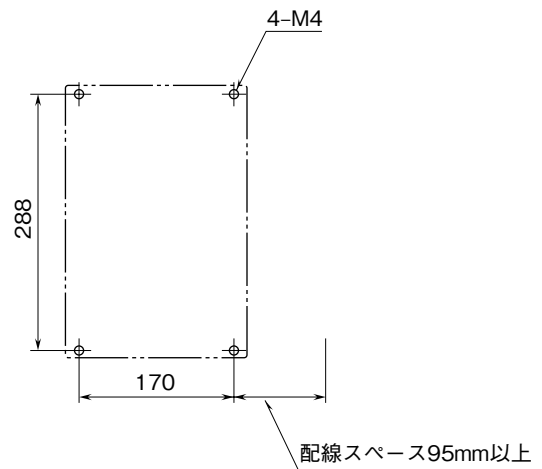
# 取付方法

## 取付寸法図 (単位: mm)

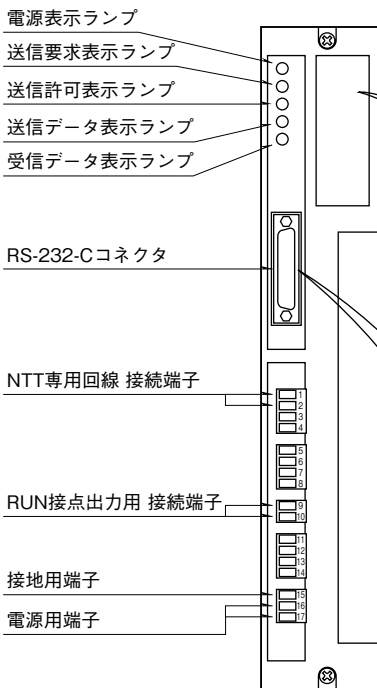
■本体直付けの場合



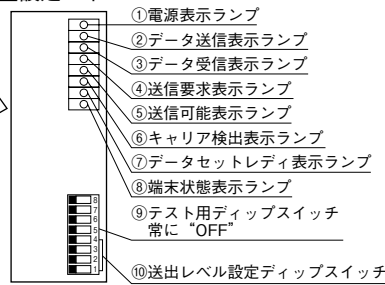
■側面取付の場合 (端子台右側のとき)



# パネル図



### ■設定パネル



### 送出レベル設定表

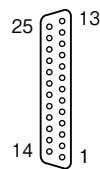
(dBm)	1	2	3	4
-15	ON	ON	ON	ON
-14	OFF	ON	ON	ON
-13	ON	OFF	ON	ON
-12	OFF	OFF	ON	ON
-11	ON	ON	OFF	ON
-10	OFF	ON	OFF	ON
-9	ON	OFF	OFF	ON
-8	OFF	OFF	OFF	ON
-7	ON	ON	ON	OFF
-6	OFF	ON	ON	OFF
-5	ON	OFF	ON	OFF
-4	OFF	OFF	ON	OFF
-3	ON	ON	OFF	OFF
-2	OFF	ON	OFF	OFF
-1	ON	OFF	OFF	OFF

専用回線のノイズが多くデータが化けるときなどには送出レベルを調整して下さい。  
工場出荷時の送出レベルは-15dBmとなっています。

### ■注意

送出レベルの変更は、必ず工事担当者が行うか、工事担当者の指示のもとに行ってください。

### ■RS-232-C インタフェース

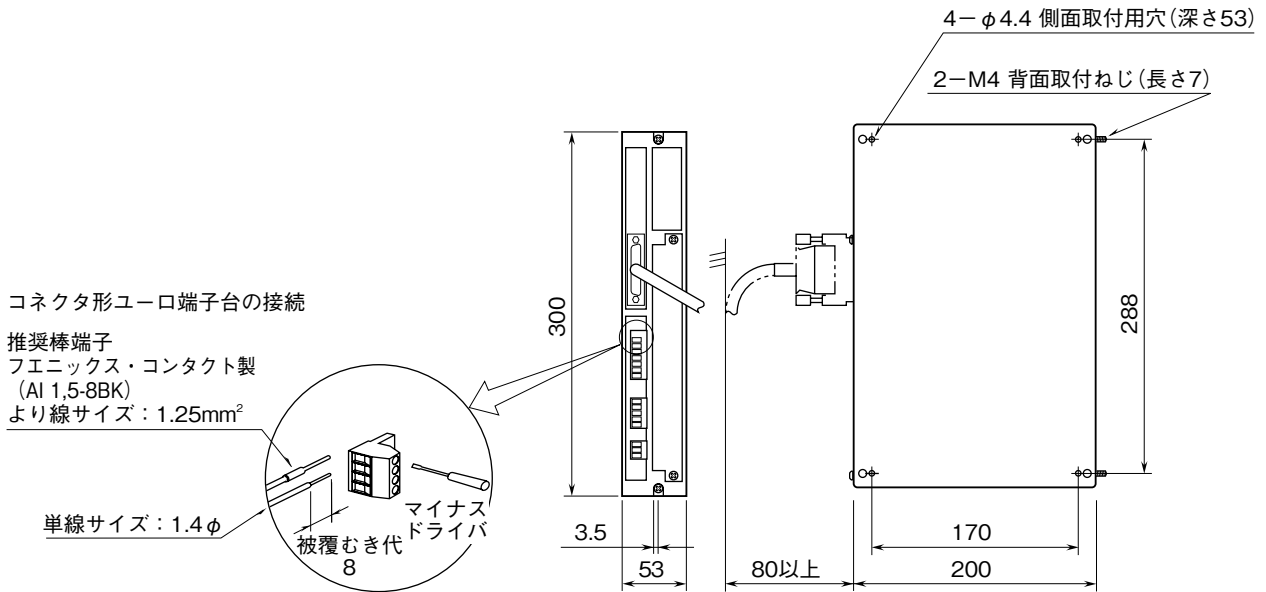


略号	ピン番号	機能	説明
FG	1		(未接続)
SD	2	送信データ	本器から送られるデータ信号
RD	3	受信データ	本器に送られるデータ
RS	4	送信要求	送信要求の信号
CS	5	送信可	本器へのデータ送信許可
DR	6	データセットレディ	送受信可能信号
SG	7	信号用アース	信号用アース
CD	8	キャリア検出	キャリア受信信号
ER	20	端末装置レディ	本器の送受信可能信号

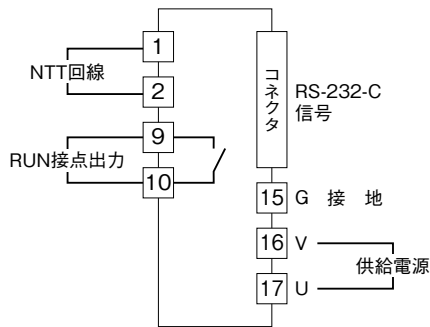
## 接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

### 外形寸法図 (単位 : mm)



### 端子接続図



## 雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器<エム・レスタシリーズ>をご用意しております。併せてご利用下さい。

## 保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。